

「平成28年度 社会人基礎力白書」に寄せて

○鶴雅観光人材養成講座(社会連携実践Ⅲa)

阿寒エリアを拠点として道内各地でホテル・旅館業を手広く経営する鶴雅グループは、約10年前から道内外の大学と連携して観光人材育成を目的とした実践型研修プログラムを提供しています。本学は平成27年冬期(第19期鶴雅観光人材養成講座)より試行的に学生を派遣し、今年度夏期(第20期)には5名の学生を派遣しました(詳細なプログラムについては公表しないこととなっております)。



北海道新聞釧路版(2016/2/20)



写真：鶴雅観光人材養成講座第20期開講式

5. おわりに

新卒採用の“売り手”市場が長らく続いていることや、経団連の採用スケジュール申し合わせの影響から、採用活動(就職活動)の短期化が進んでいます。そのようななか、多くの企業が「インターンシップ」と称した事実上の企業広報活動を行い、結果として極めて表層的で教育効果が甚だ疑わしい「インターンシップ」が蔓延しつつあります。他方で日本を代表する経済団体から「高等教育改革に繋がるインターンシップの枠組み」が示されるとともに具体的に実行に移されたことは意義深いことと考えられます。また北海道や小樽後志地域の種々のステークホルダーと連携した実践的教育プログラムはますます充実しており、本学における社会人基礎力育成の取り組みが着実に成果を挙げており、今年度のカリキュラム改編によって、さらに多くの学生がその機会を得ることが可能になりました。これもひとえに緑丘会による本学のキャリア教育事業の全面的支援の賜であることは言うまでもありません。重ねて感謝の意を記すとともに、今後も変わらぬご支援をお願いいたします。